

Safe Volu

(Former First Aid)

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙 No.52 平成18年8月1日発行

平成18年度静岡県・浜松市総合防災訓練について

9月1日は「防災の日」です。1923年（大正12年）の9月1日に起きた「関東大震災」の教訓を忘れず、また、この時期に多い台風への心構えの意味も含めて、1960年（昭和35年）に制定され、今年も9月1日は「二百十日」にあたります。毎年、予知型の全国的な訓練が開催され、多くの国民が訓練に参加し、防災意識の再認識をする機会となります。

さて、今年度の会場型総合防災訓練は、浜松市庄和町の浜名湖花博駐車場跡地をメイン会場として、浜松市内で開催されます。赤十字関係では、前年度支部にd-ERU（国内型緊急対応ユニット）が導入されたことから、d-ERUを活用しての医療救護訓練や赤十字奉仕団による各種訓練が予定されています。特殊奉仕団からは、本団と無線奉仕団が参加いたします。

本団は、会場内に仮設された救護病院内で、軽傷者の応急手当訓練に参加する予定で調整が進んでいます。詳細については、第2回全体会議での調整の結果をもとに、最終的に決定し支部ホームページで団員に対し周知をしていきます。今年度は金曜日にあたりますので、活動できる方が限られることと思いますが、積極的に御参加いただきますようお願いいたします。（訓練・研修部会）

順調に組織拡大中です・・・！！

平成17年5月26日、心を同じくする団員36人（指導員のみ）でスタートした本団ですが、約1年間を経過して団の活動が社会から大きく評価され、また、団員資格の拡大が相乗効果となり、順調に組織拡大が進んできました。7月には8人の新入団員を迎え、現在、団員総数90人となり、発足時に比べると倍増しています。指導員以外の団員数が過半数を超えた（47人）ことにより、指導中心の奉仕団から、自らのスキルアップを図り社会安全に奉仕することができる奉仕団に成長できました。今年度も活動計画に基づき、多くの仲間と一緒に県民に奉仕していきます。（事務局）

今月の眼（見た）・耳（聴いた）！「気を付けよう、通年型になったプール熱」

今年全国的に流行がみられる『咽頭結膜熱』は、別名を『プール熱』といいます。これは、アデノウイルスという微生物が、接触感染によって喉の咽頭炎、目の結膜炎を起こし、発熱を伴う病気です。

ウイルスは粘膜から進入するので、粘膜を清潔に保つ事と、粘膜と免疫力の強化をすることが大切です。（ウイルス性結膜炎に対する特效薬は、現状ではありません。）症状としては…5～7日の潜伏期間をおいて、38～40度の熱が4～6日程続き、喉の痛みが強く（咽頭炎の症状）目が赤く、目やにが出る（結膜炎の症状）。また頭痛・腹痛・吐き気・下痢などを伴うこともあります。予防としては…タオル類の使いまわしは避ける。また…うがい・手洗いの励行。水泳後のシャワー、洗眼、プール水の消毒を徹底することをおすすめします。

学校保健法で第2種伝染病に指定されています。ご注意ください。（機関紙・広報部会）

信州・北陸・中国・九州地方、沖縄県において、長雨土砂洪水災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられました方々の御冥福をお祈りいたします。